

A decorative border with floral motifs in the corners and a thin line connecting them.

令和3年第4回富谷市議会定例会

市長挨拶

令和3年11月30日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～

1. はじめに

本日ここに、令和3年第4回富谷市議会定例会が開会されるにあたり、開会の挨拶に併せ、富谷市総合計画に掲げた、まちづくりの将来像「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた現在の取組概要について、ご説明申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症への市の取組について申し上げます。

市民の皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。また、最前線でご尽力されている医療従事者の皆様に対し、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染者数は、現在、極めて低水準で推移しております。本市におきましても、10月8日以降は、感染者が発生していない状況にあります。

政府では、11月19日の新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、基本的対処方針の見直しを行い、今後は感染対策を講じながら、行動制限の緩和の取組を進めていくという方針を示しております。

これを受け、本市では、11月24日に新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、市内公共施設の利用制限等について見直しを行いました。

今後は、行動制限が緩和されていきますが、感染の再拡大の可能性がなくなったわけではございませんので、市民の皆様には、引き続き、基本的な感染対策を徹底していただきますよう、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスワクチン接種については、10月の集団接種を経て、11月29日現在、12歳以上の1回目の接種率は90.0パーセント、2回目の接種率は88.9パーセントとなり、希望される方の接種は、ほぼ完了したものと捉えております。今後、満12歳を迎える方や、未接種となっている方については、8か所の指定医療機関で接種を継続してまいります。

また、3回目の追加接種については、2回目の接種から原則8か月以上経過した18歳以上の方を対象に、今月中旬から順次、接種券を送付しており、来月12月には、富谷・黒川管内の指定医療機関で接種を開始してまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

次に、新型コロナウイルス感染症に関連する主な経済対策の状況について申し上げます。

全世帯に交付した「地域振興商品券交付事業」については、利用期間終了まで残り1か月となりました。現在、約70パーセントの換金率となっており、市内店舗等で多くの市民の皆様にご利用いただいております。引き続き、年末に向けた利用促進の周知を図ってまいります。

国の緊急事態宣言及び、まん延防止等重点措置に伴う「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業」については、本日までの申請期間となっておりますが、これまで申請から交付まで、迅速かつ適切な事務処理に努めてまいりました。なお、11月25日現在、のべ240店舗に対して、総額約1億5千万円を支給したところでございます。

宮城県事業への上乗せ補助となる「時短要請等関連事業者支援補助金事業」については、事業継続支援事業の申請事業者への文書による周知など、宮城県事業への申請促進をさらに徹底してまいります。

また、子育て世帯への臨時特別給付金については、先行して実施いたします、子ども1人あたり5万円の給付を年内に開始するため、関連経費を本定例会の補正予算に追加提案させていただいておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

今後とも新型コロナウイルス感染症の発生状況を注視し、各関係機関と密に連携しながら、感染拡大の防止や必要な支援策など、迅速な対応に努めてまいります。

2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の4つの基本方針と後期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

企業誘致関連については、10月27日に市役所において、幅広く福祉事業を展開する、株式会社ジェー・シー・アイの成田地区への本社移転に伴う立地表明会見を執り行いました。これまで分散していた本社及び工場等を統合し、敷地内には、新たに地域開放型の福祉用具ショールームやセミナースペースの設置が予定されているなど、地域に根差した福祉サービスの提供を期待するところであります。

また、企業誘致における大きなインセンティブとして、「用地取得奨励金」の対象エリアを市内全域の工業用地等に拡大し、実効性のある誘致活動のさらなる強化を図ってまいります。

つきましては、本定例会に条例改正案を提出しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

サテライトオフィス誘致については、地域課題を官民協働で解決に導く実証事業「おためしイノベーション富谷」による候補企業マッチングと併せて、9月24日に協定を締結した、全国古民家再生協会宮城県連合会と連携しながら、空き家等を活用したサテライトオフィスの定着化に向けた具体的な誘致を進めてまいります。

(2) 起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

富谷塾については、現在180名以上の塾生が入塾し、それぞれのレベルに対応した多様なメニューを通して、実践的な学びを深めております。コロナ禍ではありますが、富谷宿観光交流ステーション・とみやどや、大亀山森林公園をフィールドとしたマルシェやイベントなど、新たなチャレンジも活性化してきたところでございます。

また、12月5日には、約半年間にわたり、本格的なビジネスプランを設計するベンチャー創出プログラムに参加した塾生の報告発表会を、初めて一般公開形式で開催いたします。参加塾生が長期間学んできた成果を多くの市民の皆様を知っていただく機会にしたいと思っております。

さらに、12月17日から19日までの3日間をかけて、「Startup Weekend 富谷」を初開催します。このイベントは、世界約160か国で開催されている、アメ

リカ発祥の体験イベントで、週末の 3 日間で、集中的に起業のきっかけや成果を生む実践的な取組となっております。コロナ禍を考慮し、全日程オンライン対応としたことにより、現在、全国から多くの参加者に応募いただいております。今後も起業速度を高める、多様な支援をさらに拡大してまいります。

(3) 農業関連施策について

次に農業関連施策について申し上げます。

稲作については、東北農政局から今年の作況指数が県内全域で「平年並み」と発表されました。また、新みやぎ農協あさひな地区本部の買入状況においても、本市の 1 等米比率は 93 パーセントと、ほぼ平年並みとなっている状況であります。

しかしながら、米消費の減少や、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響による業務用米の需要の低迷、民間在庫量の増加などが米価下落の引き金となり、今後も大変厳しい状況が続くものと考えております。

本市独自の支援策として、先の臨時会にて議決いただきました「農業継続支援補助金」については、11 月 25 日現在、対象者 213 名のうち、170 名から申請をいただいております。

米の生産については、農協推奨ブランド米である「特別栽培米」の売れる米づくりの推進及び消費拡大や米の需要供給のバランスを図り、非食用米等への取組の推進など、新みやぎ農協あさひな地区本部と連携を図りながら取り組んでまいります。

本市の特産品であるブルーベリー及び新たな果樹として推奨しているイチジクについては、4 月に発生した凍霜害(とうそうがい)により、収穫に大きな影響を受けました。大幅な減収の状況を踏まえ、本市独自の支援策として、前年と比較して出荷量が減少した生産者に対して、被害額の 3 分の 1 を助成することとし、継続した特産品及び新果樹の取組を推進してまいりたいと考えております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

農作物有害鳥獣対策については、イノシシ被害防止対策として、地域への侵入を防止するための物理柵、8.5 キロメートル分の購入費用として、「富谷市農作

物有害鳥獣対策協議会」に対して補助金を交付し、有害鳥獣対策を推進するため、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

(4) 観光・地域振興施策について

次に、観光・地域振興関連施策について申し上げます。

昨年度から開催している「秋のスイーツフェア」については、9月25日から10月10日までの期間で、市内12店舗が参加し、シャインマスカット、イチジク、ハチミツやブルーベリーなどの本市の特産品を使用した「とみやスイーツ」が販売され、市内外の多くの皆様にお買い求めいただきました。夏のスイーツフェアと併せて、引き続き、6次化の推進と関係人口の拡大に努めてまいります。

「富谷宿観光交流ステーション・とみやど」については、年間来場者数の目標10万人を約5か月間で達成するなど、観光拠点として着実に成果を蓄積しております。冬季期間に入るにあたり、防寒対策も含めて、新たな企画をさらに充実させながら、引き続き、新しい賑わいを創出してまいります。

また、「とみやど」の運営を来年度から地域商社による指定管理業務に移行するにあたり、本定例会の補正予算に係る経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

なお、9月議会で議決いただいた出資金を原資とした地域商社については、年内設立に向けた最終調整の段階となっております。

(5) 公共交通関連施策について

次に、公共交通関連施策について申し上げます。

新公共交通システム推進事業については、現在、「官民連携による新たな都市交通システムの整備手法検討調査」の取組を進めているところであり、引き続き、関係機関と連携を図りながら、基幹公共交通の整備に向けて、鋭意取り組んでまいります。

(6) 道路関連施策について

次に、道路関連施策について申し上げます。

社会資本整備総合交付金を活用して進めている各種事業のうち、「市道穀田三ノ関線道路改良事業」については、11月には令和3年度分の工事契約を締結し、

工事の進捗を図っております。

また、「市道三ノ関大崎線道路改良事業」については、2 工区に分割し、それぞれ進捗を図っているところであります。

(7) 土地利用関連施策について

次に、土地利用関連施策について申し上げます。

仙塩広域都市計画第 7 回定期見直しについては、住居系の明石台東地区の宅地販売が今年 4 月から開始され、徐々に入居が始まっていることから、今後の人口増加が見込まれております。

また、成田二期東地区については、来年 2 月から本格的な工事に着手していくこととしており、工業系の高屋敷西地区については、11 月に事業認可を取得し、令和 5 年度の用地引き渡しを目指して工事に着手しているところです。今後の人口増加への期待と併せて、企業誘致の促進にさらに努めてまいります。

(8) 住宅・公園・上下水道関連施策について

次に、住宅・公園・上下水道関連施策について申し上げます。

(仮称) やすらぎパークとみや整備事業については、造成工事のための一般競争入札を実施し、落札業者と契約に向けた調整を行っているところです。

つきましては、本定例会に、契約に係る議案を追加提案させていただいておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 教育・青少年健全育成関連施策について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

市内小中学校では、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、各学校において授業や学校行事等の教育活動を実施してまいりました。

そのような中、去年は中止となった、1 泊での修学旅行や野外活動なども、今年度は緊急事態宣言解除を受けて、安全を確認しながら実施することができました。

今後についても、感染状況を見極めながら、児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるように努めてまいります。

次に、9月定例会でご説明申し上げました「不登校特例校 富谷中学校西成田教室」については、9月に2回に渡り保護者説明会を実施いたしました。

説明会では、参加された保護者の方から、多くの質問やご意見が寄せられ、西成田教室への大きな期待感を改めて感じたところであります。

現段階では、1次募集と2次募集で申請をいただいた、すべてのお子様と保護者との面接を終えたところであります。

今後も、学ぶ楽しさと成長する喜びを感じ、一人ひとりの社会的自立に結び付けていくことを目指して、令和4年4月の開設に向け、引き続き、整備を進めてまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

次に、学校給食の米飯給食については、現在は週3.5回実施しているところであります。今年度においては、米の需要の減少による米価下落が著しいことから、宮城県市長会において、稲作農家支援に関する緊急要望が宮城県知事並びに農林水産省へ提出されました。

要望項目の一つとして、米の需要拡大のため、学校給食における提供回数を週4回にすることなどが盛り込まれ、本市といたしましては、この要請の実現を図るとともに、SDGsの取組を推進する視点も含め、来年2月からの週4回の米飯給食の実施に向けた調整を進めているところでございます。

米飯給食は、味覚を育む子どもたちに、米を中心とした「日本型食生活」の普及・定着を図る上で重要なことと考えておりますので、ご理解の程、よろしく願いいたします。

(2) 生涯学習関連施策について

次に、生涯学習関連施策及び図書館整備関連について申し上げます。

富谷市民図書館等複合施設については、図書館、スイーツステーション、児童屋内遊戯施設を複合施設として整備を進めていくための新たな基本方針を6月に策定し、令和7年度の供用開始に向けたスケジュールを議会の皆様にご説明させていただいたところです。

また、11月には、議会調査特別委員会から報告書をいただきました。報告書

において示された内容については、真摯に受け止め、今後の取組において、適宜検討を行いながら、市民ニーズに沿った整備に努めてまいります。

なお、現在は、令和4年度に予定している設計業務を見据え、事業手法の決定及び業者選定につながる内部調整を進めております。検討結果については、議会の皆様にご説明申し上げますので、よろしくお願いいたします。

次に、「富谷市成人式」については、夢と希望に満ちた成人となられた方々を祝福するため、来年1月9日に富谷スポーツセンターを会場に執り行います。昨年と同様に、感染防止対策を講じながら開催することを念頭に、午前・午後の2回に分散し、式典内容も短縮した形式で開催いたします。コロナ禍での開催となりますので、限られたご来賓へのご案内となりますが、新成人の新たな門出をお祝いできるよう準備を進めてまいります。

(3) スポーツ・レクリエーション関連施策について

次に、スポーツ・レクリエーション関連施策について申し上げます。

本市とホームタウンパートナー協定を結んでいる、バレーボールチーム「リガーレ仙台」は、今年Vリーグに初参戦となり、11月13日と14日に初のリーグ戦が富谷スポーツセンターを会場に開催されました。来場者数を会場収容人数の50パーセントとした中での開催となりましたが、チケットは1週間で完売となるなど、佐藤あり紗監督率いるチームへの期待の大きさが伺えました。

結果は残念ではありましたが、当日は多くの皆様にお越しいただき、トップアスリートにふれる機会が創出されました。来年2月26日及び27日にも富谷大会が開催されますので、今後のチームの健闘に期待するとともに、「見るスポーツ」、「応援するスポーツ」をとおして、スポーツの力を市の活力へと繋げてまいります。

(4) 子育て関連施策について

次に、子育て関連施策について申し上げます。

東向陽台幼稚園跡地に令和4年4月の開園に向けて準備を進めてまいりました認定こども園については、設置主体である学校法人杜栄（とえい）学園から、保育教諭の確保が困難となったことにより、開園の時期を1年先送りし、令和5年4月からとしたい旨の申し出がありました。本市といたしましても、やむを

得ない事情と考えております。引き続き、国や県などの関係機関との調整を図りながら、必要な手続きを進めてまいります。

次に、仙台市宮城野区で乳児院やこどもクリニックを運営しております社会福祉法人恩賜財団済生会が、令和 5 年度を目途として、本市成田地区へ移転されることとなりました。

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと、明治 44 年に設立され、110 年にわたる活動を展開している日本最大の社会福祉法人であり、総裁には秋篠宮皇嗣殿下がご就任されております。

子育て世代が多く住む本市においては、これまでもさまざまな子育て支援施策を進めてまいりましたが、この度の済生会の本市への移転については、本市はもとより、富谷・黒川地域全体としても、小児医療や地域の子育て支援の充実に寄与するものとなり、意義は大きく、歓迎するものでございます。

3. 「基本方針－3 元氣と温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元氣と温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 高齢者支援関連施策について

はじめに、高齢者支援関連施策について申し上げます。

高齢者の心と体の元氣づくりの拠点として実施している福祉健康センター事業については、平成 29 年度から富谷市社会福祉協議会へ指定管理業務を委託し運営を行っております。委託期間が 5 か年であることから、次期の令和 4 年度から令和 8 年度までの指定管理者について、選定を進めてまいりました。

その結果、社会福祉法人富谷市社会福祉協議会を候補者として選定し、本定例会へ上程しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

(2) 健康・保健関連施策について

次に、健康・保健関連施策について申し上げます。

富谷市健康推進計画については、中間評価を実施し、概要版を全戸にお配りして、市民の皆様にお知らせしたところであります。

中間評価から見えてきた課題であります「運動習慣のある人の減少」、及び「コロナ禍での活動量の減少」を踏まえ、運動をテーマとした「とみや市民公開講座」

を11月12日に成田公民館にて開催いたしました。引き続き、市民の皆様の生活習慣病予防や、健康づくりに関する知識向上に向けた周知啓発に努めてまいります。

(3) 医療関連施策について

次に、医療関連施策について申し上げます。

昨年、3病院の連携・統合の報道発表を受け、本市への誘致をいち早く表明しておりましたが、10月に宮城県から新たに示されました、県立がんセンターと仙台赤十字病院の統合及び東北労災病院と県立精神医療センターの合築による新病院の2つの枠組みについては、既存の病院機能を生かしつつ、救急医療や災害医療体制の強化が図られるなど、地域医療の課題解決に繋がる取組であり、仙台医療圏はもとより、県域においても非常に意義のあるものと捉え、この方針に賛同するものであります。また、11月24日には、「地域医療の課題解決の方向性に関する仙台医療圏市町村長会議」が開催され、県より来月から具体像の協議が開始される旨の説明があったところであります。

本市におきましては、県や各病院の運営主体等の協議の進展を見守るとともに、引き続き、積極的に誘致の実現に向けて取り組んでまいります。

4. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 防災・救急・消防関連施策について

はじめに、防災・救急・消防関連施策について申し上げます。

防災関連については、11月7日に、今年度の「富谷市総合防災訓練」を実施しました。コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、1か所に多数の方々が密集することを避け、市役所と各町内会館の間での無線通信訓練と安否確認訓練を行い、共助の一層の強化につながったと考えております。

消防関連については、秋の火災予防運動に先立ち、本市消防団では、11月7日に開始式を行い、11月9日から15日までの期間中に広報や巡回活動など、火災予防に努めてまいりました。

防災や消防については、日頃からの取組が大切なことから、引き続き、関係機

関と連携を図りながら、市民の皆様の安全・安心の確保に取り組んでまいります。

(2) 防犯・交通安全・消費者保護関連施策について

次に、防犯・交通安全・消費者保護関連施策について申し上げます。

交通安全関連については、国の補助金を活用して進めていた、あけの平・大清水地区の生活道路へのハンプや狭さを設置する安全対策工事について、関係機関や地元の協力を得ながら、全ての工事が完成し、安全対策を講じることができました。

これから路面凍結・積雪の時期となってまいります。今後も引き続き、交通事故死亡事故ゼロの継続に向けて、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

(3) 環境衛生関連施策について

空き家対策事業については、11月3日に、空き家対策計画策定後、初めての試みとなる市民向けの「空き家セミナー」を開催し、市内外から約40名の参加をいただいたところです。セミナーでは、「空き家ゼロに向けて」をテーマとした基調講演のほか、基本的な相続手続きや整理整頓片付け術などの講演、無料相談会も実施いたしました。今後も、市民の皆様を対象とした空き家の適正な維持管理、空き家発生予防のための啓発に努めてまいります。

(4) 省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について

次に、省エネルギー・再生可能エネルギー施策について申し上げます。

環境省「地域連携・低炭素水素技術実証事業」については、今年度が実証期間の最後の年となります。現在は、今年度から運用を開始した水素混焼発電機の効率性の検証を行うとともに、本水素サプライチェーンの有効性、経済性の評価を行っているところです。また、本実証事業は、水素エネルギーの民生利用を目的としたサプライチェーンモデルとして国内外から高い評価を受けている取組であることから、次年度以降の事業展開についても、共同事業者と協議を進めているところです。今後の方向性がまとまりましたら、議会の皆様にも、改めてご説明をさせていただきます。

ゼロカーボンシティ推進事業関連については、現在、地球温暖化対策に向けた、2050年までの二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すため、「富谷市2050年ゼロカーボン戦略」策定を進めており、10月には有識者等による協議会を設立

いたしました。今後は、協議会の意見をもとに、地域の将来ビジョン、脱炭素シナリオの作成など、最終的な政策構想の戦略を策定いたします。

また、サイエンス教育と環境啓発事業については、来年1月29日に成田公民館で開催いたします「サイエンスキャッスル2021 東北大会 in 富谷」におきまして、富谷高校及び市内中学校2校にも参加いただき、発表を行っていただくことから、市といたしましても環境・エネルギー事業に関する取組を積極的に進めてまいります。

(5) 住民参加・協働関連施策について

次に、市民参加・協働関連施策について申し上げます。

今年度第3回目となる「とみやわくわくミーティング」については、11月18日に「とみやわくわく子どもミーティング」として、「子どもにやさしいまちづくりについて～とみやの未来を考える～」をテーマに、市役所市民交流ホールで実施いたしました。市内すべての小学校から、5、6年生15名の皆さんにご参加いただき、さまざまなアイデアやご意見をいただきました。引き続き、子どもたちの声を積極的にまちづくりに生かしながら、子どもにやさしいまちづくりの推進に努めてまいります。

なお、次回は「田園都市構想について～住みたくなるまち日本一を目指して～」をテーマに、12月21日に開催する予定としております。

町内会館の整備については、明石会館新築工事が当初の予定どおり完了し、長年課題となっておりました、老朽化に伴う町内会所有の会館の建替えは全て完了いたしました。

(6) 行財政経営関連施策について

次に、行財政経営関連施策について申し上げます。

令和4年度の職員採用については、これまでに上級行政及び土木、初級行政、中級保育士等の採用試験を終えたところであります。今後は、定年退職者数等を勘案しながら適正な職員数の確保に努めてまいります。

次に、市税について申し上げます。

市税については、市民の皆様の納税へのご理解とご協力を賜っておりますことに、深く感謝を申し上げます。

現在、来年2月10日からの令和4年度市・県民税等申告相談の実施に向けて、準備を進めておりますが、今年度におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、市民の皆様には、所得税等の確定申告の際には、「e-Tax・電子申告」をご利用いただくよう、広報などを通じてお知らせしてまいります。

また、同様に新型コロナウイルス対策として今年度より開始いたしました、非接触型のスマホ決済によるキャッシュレス収納については、10月末現在で全納税件数のうち、2パーセントの利用率となっておりますことから、こちらについても、さらなる利用促進を図ってまいります。

最後に、民間事業者発表の「自治体評価ランキング」について申し上げます。

10月20日、大東建託株式会社が発表した「住み続けたい街ランキング2021」において、本市は「住み続けたい街」及び「街に誇りがある」において、東北第1位に位置付けられました。先に発表された「住み良さランキング」、「街の住みこころランキング」に続き、居住者による満足度調査をもとに、いずれも高い評価をいただいたものと受け止めています。

引き続き、本市の将来像「住みたくなるまち日本一」を目指して、まちづくりに取り組んでまいります。

以上、令和3年第4回富谷市議会定例会が開会されるにあたっての挨拶とさせていただきます。